

購入を検討される先生へメッセージ

～今やCT導入は当たり前の時代に～

これから新規開業される先生方においては、CT導入は当たり前の時代になりつつあります。様々な面で治療のクオリティをあげると共に、何かあった時に自分の身を守るという意味でもとても大切なものではないでしょうか。

また、既にご開業されている先生におかれましても、追加でセファロを付けることなくパノラマと同スペースで頭頸部全体を撮影でき、分析ソフトも付いている装置を導入できることは矯正治療のクオリティを上げることもできますし、矯正と連携した治療の先生には最適ではないでしょうか。OP 3D Visionを使うことによって、診断のポテンシャルを更に引き出すことができますし、自分をより高みに導いてくれる製品を購入されようと考えていらっしゃる先生方は是非お勧めいたします。



Customer Information

フィールズ歯科・矯正歯科

〒151-0061 東京都渋谷区初台1丁目11-4
TEL:03-6276-8632



上津原 悟郎

・東京医科歯科大学歯学部卒業
・東京医科歯科大学歯学部附属病院 臨床研修医修了
・国家公務員共済組合連合会 虎の門病院歯科 非常勤



今村 俊博

・東京医科歯科大学歯学部卒業
・東京医科歯科大学歯学部附属病院 臨床研修医修了
・東京医科歯科大学大学院咬合機能矯正学分野修了(歯学博士取得)
・日本矯正歯科学会認定医
・インビザライン認定ドクター

DEXIS Customer's Voice

小さな設置スペースに 大きな撮影範囲のCT装置



総合的な歯科診療提供へのたゆみなき挑戦

「質の高い治療を患者さんへお届けしたい」「患者さんのあらゆるニーズに応えたい」それぞれの専門性を持ったドクターが在籍し、一般歯科と矯正歯科が連携した診療を実践することでお互いの特長を活かした治療を提供するというスタイルを構築。診断の核となるCT装置に「OP 3D Vision」を選んだ理由を伺いました。

フィールズ歯科・矯正歯科

一般歯科医

矯正歯科医

上津原 悟郎 先生 今村 俊博 先生



全ての臨床を強力にサポート

ORTHOPANTOMOGRAPH™

OP 3D Vision



- 広範囲CT撮影領域 (最大FOV: φ23cm×H17cm)
- 座位による確実な固定と 360° スキャニング
- 超低被ばく線量モード搭載

販売名:オルソパントモグラフ OP 3D Vision
認証番号:226AIBZX00015000
設置管理医療機器・特定保守管理医療機器

保証期間2年

一般診療向けCTの決定版

ORTHOPANTOMOGRAPH™

OP 3D



- 鮮明なパノラマ・セファロ画像
- 汎用性の高いCT撮影機能 (最大FOV: φ14cm×H9cm)
- 効率的なワークフロー

販売名:オルソパントモグラフ OP 3D
認証番号:229AIBZX00037000
設置管理医療機器・特定保守管理医療機器

保証期間1年

※掲載されている写真にはオプションが搭載されている場合があります。※製品の仕様等は改良のため断りなく変更になる場合がございますのでご了承ください。



Envista

エンビスタジャパン株式会社

〒140-0001 東京都品川区北品川 4-7-35 御殿山トラストタワー
TEL:0800-111-8600 FAX:03-6866-7273
www.envistaco.jp

DXTFJB2302V3_3DIX-052



◀ 動画版はこちら



一般歯科医
上津原 悟郎 先生

GPとしてOP 3D Visionを選んだ理由

時代の流れとして、限られたスペースの中で待合室やスタッフルームなど、臨床で使えるスペースのバランスを考えてクリニックを設計していかなければなりません。

そこで様々なメーカーのCT装置を検討していく中で、このOP 3D Visionは、本当にコンパクトで、すごく小さなスペースしか使わないにもかかわらず、非常に大きな範囲のCT撮影が可能な機種であるということが分かり、選ばせていただきました。

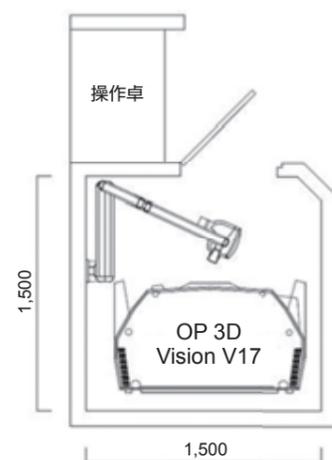
おそらく、当院のレントゲン室は日本で一番狭いレントゲン室です！

開業時にCTを導入

～営業マンの印象～

開業するにあたっては、多くの機種の中から納得して選定するためにメーカーのショールームに伺って検討しました。実際にショールームで営業の方々とお話して感じていたことは、とてもご自身たちの製品に対してプライドを持っていらっしゃるなど感じましたし、僕らに本当にいいものだから使ってほしいという気持ちを持って接してくれました。

僕らのような非常に若手でこれから開業していくドクターに対しても、一人前のドクターとして接していただきながら、かつとてもフレンドリーに僕らの悩みや不安に思っていることをしっかり聞いて対応してくださる姿勢は、購入する側からするととても安心できました。皆さんが紡ぎだす雰囲気は「とても高級感があって安心できるものだな」と感じました。



CTによる検査・診断

～3次元データから構築するパノラマ/セファロ画像～



このソフトでは、CTデータから2次元のパノラマ画像およびセファロ画像の作成も行うことができます。当然、作成したセファロ画像は、エクスポートして別のソフトウェアでのCeph分析に使用することもできますので、二次元でのCeph分析が得意という先生はそちらの方に移して使用していただいてもいいかもしれません。

パノラマ画像では、明るさや表示モードを変えられるので従来のパノラマとは違う形で新しい発見ができるようになったと感じております。



～自家歯牙移植における活用～

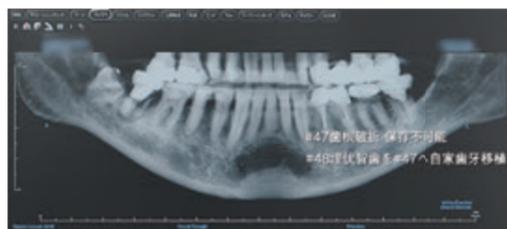


右下7番が歯根破折を起こし保存不可能であると判断した症例で、隣に埋伏智歯があったため自家歯牙移植しようと考えたケースです。

右下8番を撮影されたCTによるDICOMデータからSTLデータに置き換えるフリーソフトを用いて3Dプリンタに送れば、実際の埋伏智歯とまったく同じサイズのレプリカを作成することができます。そのレプリカを右下7番抜歯窩に試適しながら形成することで、

右下8番抜歯直後に準備された受容床へ歯牙を移植することが可能になります。

抜歯直後のフレッシュな状態で移植でき、かつ移植の成功率を高める結果となっております。



矯正歯科医
今村 俊博 先生

矯正医としてOP 3D Visionを選んだ理由

矯正の治療では多くの検査でレントゲン撮影が必要となります。パノラマ撮影やセファロの正面/側方はもちろんのこと、顎関節や歯槽骨の診断なども近年では重要となってきております。

CT画像のみならず、得られた情報から再構成して得られるパノラマ画像やセファロ画像まで、これらのデータをワンスキャンで撮影できるので、当然検査の回数や被ばく量も抑えることができます。

そのため、患者さんやスタッフの負担も減らすことができ診療をスムーズに行うことができます。

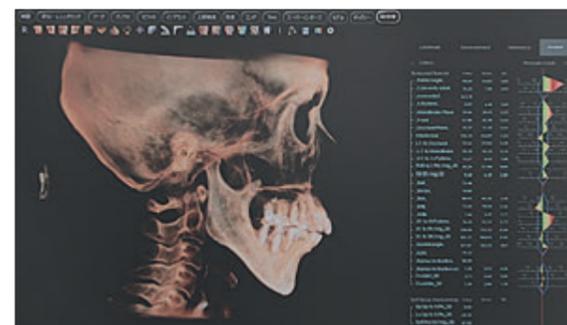
また、診断に適したソフトウェアも魅力的でした。

CTによる検査・診断

～3D矯正分析～

このケースは、インプラント上部構造および他の箇所の補綴と合わせて矯正も治療したいという患者さんです。挿入画像が3D分析の結果です。画像には3Dスキャナ(光学印象)のSTLデータも取り込むことができます。ソフト上では、トレースの作成や基準点のプロット等をおこなっていきます。

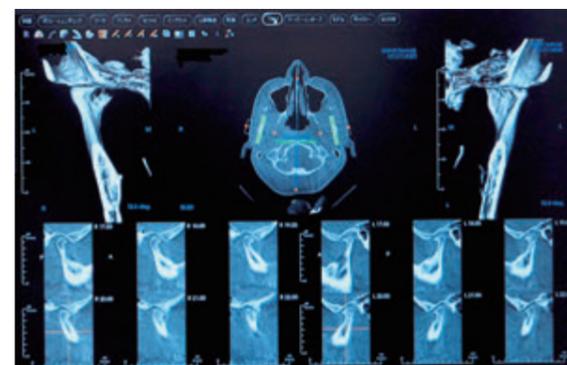
分析に関しては、かなりのものがスタート段階から準備されており、必要な測定を選択し分析を開始できます。2次元のCeph分析とは異なり、3断面から基準点を選択し微調整を行うことができ、解剖学的に正確な位置で分析を行うことができます。



～顎関節の診断～

矯正治療をおこなう際には、顎位の変化も予測されますので顎関節の形態や位置情報を事前に把握することはとても大切だと考えています。左右でかなり形態に差がある症例も多いので、事前に検査をおこなう重要性を感じております。

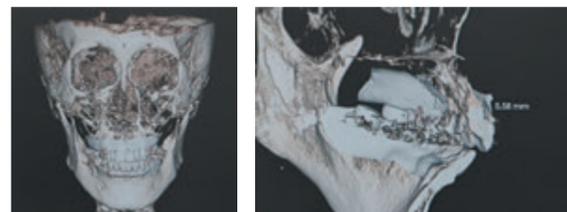
OP 3D Visionでは、ワンスキャンで必要な情報の全てが撮影できるので、このためだけに被ばくをさせ、検査回数が増えるということではなく総合的な診断に役立っております。



～STLの重ね合わせにより歯肉の厚さを把握～

石膏模型のSTLデータをCTデータと重ね合わせたものになります。前歯部を矢状断面で見ると歯肉の厚さを確認することができます。歯肉切除が必要な場合は、切断できそうな歯肉の長さを実際に計測することで、何ミリくらいのガムカットが適当であるか等の診断も行うことができます。

また、臼歯部では歯肉の厚さを事前に計測することにより、必要なインプラントアンカーの長さを選択する上でも役立つような機能となっております。



導入後も安心なアフターフォロー

～サービスエンジニアの印象～

使っていく中でのアフターフォローに関して、メンテナンスをしてくれるサービスエンジニアの方も非常に職人気質を感じ、そのマシーンに対して専門性を持ってかつ誇りを持って接してくれていることが非常に伝わってきます。